

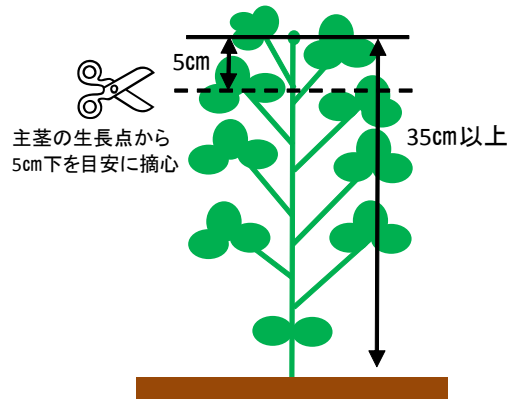
開花直前の摘心による大豆の倒伏軽減効果

【1 成果概要】

大豆の倒伏軽減を目的に、すでに摘心機を導入された方に、摘心の時期と方法をお知らせします。

(1) 摘心実施の判断の目安

- ・摘心は、開花直前（開花期の1～7日前）の主茎長が35cm以上の場合に実施します。
- ・摘心位置は、大豆の生長点から5cm下を目安とします。

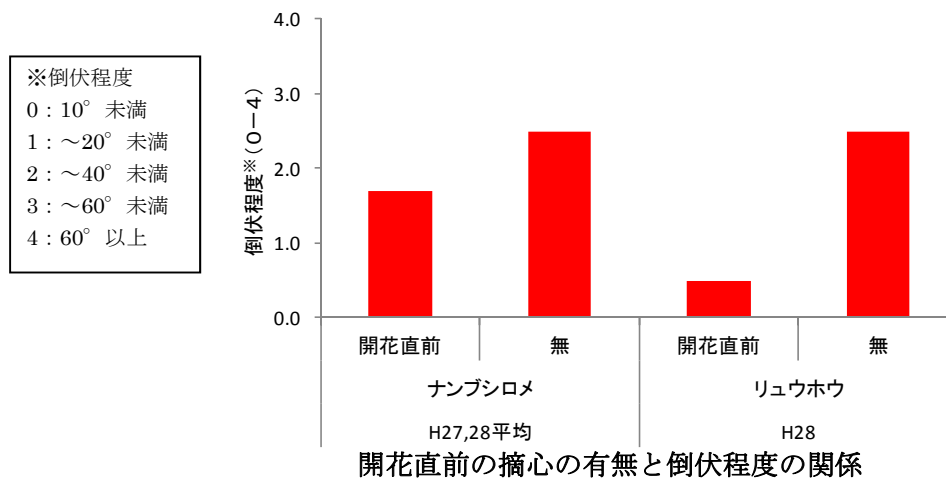


摘心実施の判断時期・基準のイメージ

(2) 摘心の時期とその効果

摘心の時期は開花直前です。

摘心により、大豆の倒伏程度を、平均して1程度軽減できます。



【2 期待される効果】

倒伏を回避することにより、良質な県産大豆の安定生産供給が図られます。

【3 留意事項】

本成果は、耐倒伏性が弱い品種「ナンブシロメ」「リュウホウ」において、培土を行わない条件で検討した結果です。

【4 適応対象】

大豆摘心機を導入している地域の農業普及員等